

# 広報 **えびの**

**12**

広報えびの 12月号  
2008.December  
**No.506**  
平成20年12月22日発行

今年もおいしいお米をありがとう。

[特集] P2 ~ P9

## いつまでもこのえびので

〈表紙写真〉11月15日に行われた田の神さあ踊り大会。

広報えびのはホームページでもご覧になれます。  
<http://www.city.ebino.lg.jp/>

特集◎ いつまでも元気で自立した生活を送るために

# いつまでもこのえびので

平成12年度にスタートした介護保険制度は、平成18年4月に「介護予防」、「自立支援」に重点を置いた制度へと改正されました。そのような中、今年の9月に介護予防事業「元気はつらつクラブ」がスタート。今号では、クラブの紹介とともに、いきいきとした生活を送るお手伝いをしている皆さんを紹介します。

**元**気はつらつクラブは、65歳以上の高齢者を対象とした運動機能向上教室です。これは、要支援・要介護状態になるおそれのある方を含めた高齢者の方々に、正しい運動指導を受けてもらうことで、体力や身体機能の低下を防止し、いつまでも元気で自立した生活を送っていたらこうと実施されたものです。

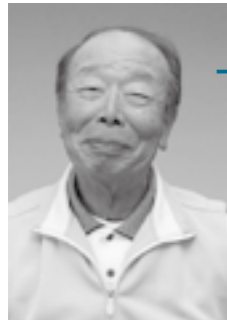
同クラブは、平成20年9月16日から12月16日までの3か月間（全14回）にわたって、運動はもちろん、栄養教室や若々しく美しい容姿を保つための美容教室も行われました。

同クラブには、市内の高齢者35人が参加。それぞれの体力や身体状況に応じた内容で進められました。では、クラブに参加する前と後では、皆さんにどのような変化が表れたのでしょうか。元気はつらつクラブに参加した皆さんを取材してみました。



元気はつらつクラブ

インタビュー

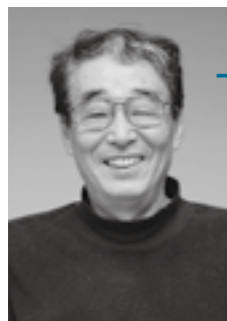


堀川正一さん  
(83歳) 中島区

クラブで習ったことを自宅で復習しながら運動をしています。特に、運動前後の体操を大切にしています。クラブに参加して、筋肉を動かすという実感がわき、体が軽くなったような気がします。これからも運動を続けていきたいと思っています。

永倉ミツエさん  
(77歳) 湯田区

両ひざが人工関節で、不安もありましたが大丈夫でした。日々の生活で動くことが楽になりました。クラブで習ったことを知人にも教えて喜んでもらえました。栄養指導もあって、それを意識して料理するようになり、おかげで体重も減りましたよ。



堀井之生さん  
(71歳) 加久藤区

家でも意識して体を動かすようになりました。運動ということの大切さを実感させられました。今後も運動を意識して、継続してやっていきたいですね。男性の参加が少なかったのが残念です。効果があるので、積極的に参加してほしいですね。

松元千保子さん  
(67歳) 中原田区

先日、転倒しそうになりましたが、何とか転倒せずにすみました。これも運動のおかげではないでしょうか。クラブではお友達もでき、毎回楽しく参加できました。ここで習ったことを生かして、これからも意識して体を動かしていきたいですね。



2

3

日常生活での動きが  
楽になりました。



1

1 クラブで正しい歩き方を学ぶ参加者 2 美容教室で化粧のコツなどを学びました 3 栄養教室

なつてとても楽になりました」と話します。ほかの皆さんも、日々の生活の中で、運動の効果を感じているようです。しかし、「クラブが終わったから運動も終わり」では、これまでやってきた意味がなくなってしまう。西田先生も「普段の生活の中で楽しみながら継続してやるのが大切です」と、継続することの大切さを訴えます。皆さんに話を聞いてみると、「これからは運動を続けます」と声をそろえて話します。どうやら心配なさそうですね。クラブに参加した皆さんの笑顔は本当に素敵です。まさにいきいきしています。そこで次ページでは、高齢者の皆さんがいきいきとした生活を送るお手伝いに励む方々を紹介します。

元気はつらつクラブでは、毎回の指導のもと、体操やストレッチ、運動器具を利用した運動が行われました。「どっさい汗をかけた(たくさん汗をかいた)」、「こやおもしてがよ(これはおもしろい)」と皆さん。毎回、楽しんで参加できたようです。また、クラブでは、茶話会も行われ、お茶やお菓子を飲みながら、先生や参加者同士の交流と親睦を深めました。運動のほか、栄養教室で毎日の食生活について学んだり、美容教室で化粧やおしゃれのポイントを学んだりしました。3か月間運動をしてきて、皆さんにどのような変化があったのでしょうか。クラブに参加する前と後で行った体力測定では、個人差はあるものの、握力や歩行など、皆さん運動機能の向上が見られました。また、毎回、参加者の皆さんを見ていて、一つ気づいたことがあります。それは、皆さんに笑顔が多くなったこと。クラブに参加することで、新しいお友達ができ、また体を意識的に動かすことで、これまででは面倒に思っていたちょっとした動きが楽になり、日々の生活に幅が出てきたからではないでしょうか。両ひざが人工関節の永倉ミツエさん(湯田区)は、「最初はみんなについていけないか不安でした。でも全然大丈夫でした。手芸の後、肩こりがひどかったのですが、クラブに参加するようになり、日々の生活に幅が出てきたからではないでしょうか。」

インタビュー



何でもおいしく食べることが基本

◎管理栄養士  
緒方三紀子さん

毎日、一日三食しっかり食べることが大切です。食べないと、病気になるしやすくなりますからね。高齢になると、動物性タンパク質は敬遠しがちです。しかし、そうではなく、若い人たちと同様に、肉、魚、卵、野菜をバランスよくしっかりと食べることが重要です。「年だからこれくらいでいい」ではなく、しっかり食べてください。また、同じような物ばかりを食べるのではなく、努めて多くの種類を食べることも大切です。噛むことは脳の働きをよくします。よく噛んで、「もうちょっと食べたいな」というところで箸を置きましょう。やっぱり、何でもおいしく食べることが基本ですね。

毎日、一日三食しっかり食べることが大切です。食べないと、病気になるしやすくなりますからね。高齢になると、動物性タンパク質は敬遠しがちです。しかし、そうではなく、若い人たちと同様に、肉、魚、卵、野菜をバランスよくしっかりと食べることが重要です。「年だからこれくらいでいい」ではなく、しっかり食べてください。また、同じような物ばかりを食べるのではなく、努めて多くの種類を食べることも大切です。噛むことは脳の働きをよくします。よく噛んで、「もうちょっと食べたいな」というところで箸を置きましょう。やっぱり、何でもおいしく食べることが基本ですね。

インタビュー



毎日楽しんで続けることが大切

◎健康運動指導士  
西田俊輔さん

体力をつけるということは、自分でやらないとどうにもなりません。必ず、やったらやっただけの効果が出ます。まずは、自分に合った、続けられるものを探ることからですね。義務としていやいやながらやるのではなく、普段の生活の中で楽しみながら継続してやるのがとても大切です。クラブに参

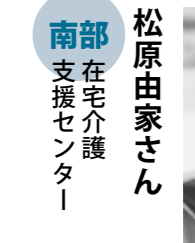
加した皆さんを見てみると、参加前に比べて、歩くのがだいぶスムーズになりました。普段の生活もだいぶ楽になったのではないのでしょうか。これで終わりではなく、家でも自分に合った運動を続けてもらいたいですね。また、家族や友人など、周りの人にも話して、運動の輪を広げてもらいたいですね。

◎インタビュー ▶▶▶



**東部** 在宅介護  
支援センター  
大野祥照さん

当センターが行う相談業務では、介護保険や退院後の生活についてのアドバイス、福祉事業の紹介などを行っています。話すことで少しでも気持ちが楽になってもらえたらいいですね。まずは、気軽に相談してみてください。



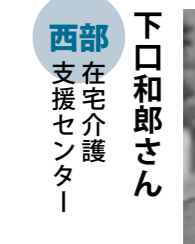
**南部** 在宅介護  
支援センター  
松原由家さん

毎月、公民館や老人福祉センターなどで、転倒やインフルエンザ、食中毒などの予防教室を行っています。皆さんもこのような場を活用して、お友達を作ったり、不安に思っていること等を話していただけたらと思います。



**中部** 在宅介護  
支援センター  
佐藤美智子さん

訪問先では「まず信頼関係を築く」ということを大切にしています。そのためにも、相手の話をよく聞くようにしています。皆さんが安心して生活できるよう、何かあった時にすぐ対応できるセンターでありたいですね。

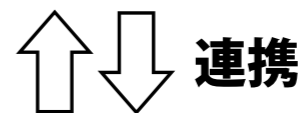


**西部** 在宅介護  
支援センター  
下口和郎さん

西部在宅介護支援センターでは、約60種の介護用品を展示しています。そのほか、最新式で使いやすい自分にあった物をご紹介します。「介護用品でこんな物はないかな」と思ったらお気軽にご相談ください。

# えびの市地域包括支援センター

## えびの市在宅介護支援センター



### 展示



**展**示では、車イスや特殊寝台、ポータブルトイレ（携帯トイレ）や介護着など、最新式の介護用品の紹介を行っています。「この商品が欲しい」という方には、カタログでの注文や、取り扱っているお店の紹介なども行っています。また、制度を利用して、購入やレンタルができるものは、その手続きのお手伝いも行っています。西部在宅介護支援センターには、約60種の介護用品を展示。試しに使っていただく場合もあります。日常生活の中で「こんな介護用品があったら便利なんだけどなあ」と思うことなどがありましたら、お気軽にご相談ください。

### 訪問



**訪**問では、高齢者夫婦世帯や一人暮らし高齢者宅などを訪問し、会話を通じてその人の健康状態や心の状態を把握しています。また、庭の手入れ状況や洗濯物など、周囲の環境などにも気を配り、困っていることや不安に思うことなどがあったら、その支援策などを助言します。訪問の上では、まずその人との信頼関係を築くことが大事。そのために、話をよく聞き、心と心のコミュニケーションを図っています。利用されている方は「一人だと心細いけど、いろんな話を聞いてくれたり話してくれたりして楽しいです。頼りになります」と話していました。

すべての在宅介護支援センターが、相談、予防教室、訪問、展示の事業を行っています。

### 予防教室



**月**6回～7回、各公民館や老人福祉センターで、さまざまな予防教室を行っています。毎回、認知症や食中毒、転倒やインフルエンザなど、その時期にあったテーマを決めて開催しています。教室では、そのテーマについて、どうしたら予防できるか、日ごろから気をつけておきたいことなどを、職員が丁寧に説明します。また、ちょっとした運動やゲームなども行い、参加者同士の交流も深めています。参加した皆さんは、「みんなとわいわい言いながら体を動かしたり勉強したりして楽しいですよ。いつも楽しみにしています」と話していました。

### 相談



**相**談では、介護保険制度や福祉事業の紹介、退院後のその後についてなど、さまざまな相談に応じています。また、制度利用のための事務手続きのお手伝いなども行っています。直接来られるのはもちろん、電話やこちらから訪問して相談を受けることもあります。相談を受ける時は、まず相手の話をよく聞きます。話をよく聞いた上で、いろんなアドバイスをしています。職員の皆さんは、「相談に来られた方が、話すことで少しでも気持ちが楽になってもらえたらいいですね」と話します。相談は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

# 皆さんの暮らしを 応援します。

皆さんのいきいきとした生活を応援するために、えびの市在宅介護支援センターでは、えびの市地域包括支援センターなどと連携して、さまざまな取組を行っています。市内に4つある在宅介護支援センターの主な取組（相談・予防教室・訪問・展示）を紹介します。

高齢者の笑顔を見るために

えびの市地域包括支援センター（以下地域包括支援センター）は、保健師や社会福祉士、ケアマネージャーが中心となって、高齢者の心身を健康に保ち、いきいきとした生活ができるよう創設されたものです。市健康保険課内に設置され、現在、9人のスタッフで運営しています。

地域包括支援センターの業務は、要支援1・2の認定を受けた方が、自立して生活していくための介護予防ケアプランの作成などの支援、介護保険だけではなく、さまざまな制度を利用した総合的な支援や相談、高齢者の人権や財産を守る権利擁護や虐待の早期発見・防止などがあります。また、要支援・要介護状態になるおそれがある人たちを、市が行う基本健康診査などから抽出し、要介護状態にならないよう

# 住み慣れたこのえびので いつまでも自分らしく

支援する計画も作成しています。

「こんにちは、おばあちゃん。元気やっだね。今日は天気がよかねえ。体の調子はどうねえ。」「あらいらっしやい。まこちよか天気やねえ。何とか元気づやっど」。地域包括支援センターの上川さんと高齢者の会話です。上川さんはこの日、一人暮らし高齢者宅を訪問し、最近の体の調子を聞いたたり、今後の新たな目標を一緒に考えたりしました。「高齢者の笑顔、元気な姿を見ると、やりがいを感じ、やってて良

かったと思います」と上川さん。このように、地域包括支援センターの皆さんは、高齢者の元気な笑顔を見るために、日々業務に励んでいます。

また、前ページで紹介したえびの市在宅介護支援センターも、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく、自立して、安心して暮らせるよう支援を行っています。

この両者が連携を強化し、地域の身近な相談窓口として、継続的な支援を行っています。

## 元気な時から介護予防を

三人に一人が高齢者というえびの市。しかし、高齢化が問題というよりも、一人でできなくなるが増える、寝たきりで過ごす期間が長くなるというの方が問題です。それでも年をとります。年をとっても、病気があっても、自分のことは自分でできる、楽しみがある、地域で暮らせる、そんな生活を送るためにも、元気な時から「介護予防」という考え方が必要なのではないでしょうか。

介護予防に欠かせない大切な要素の一つが運動。冒頭でも紹介した「元気はつらつクラブ」に参加した皆さんの声からも分かるように、筋肉は、使ったら使っただけ効果があり、使わなければ衰えていきます。運動量はちよつとした心がけて簡単に増やすことができます。入浴中やテレビを見ている時などに手足を伸ばしたり、車を駐車する際に一番遠くにとめたりするなど、日々の生活の中でも運動量を増やすことができます。まずは、日常生活の中

で、少しでも体を動かす機会を増やしてみよう。

## まずは相談してみてください

多くの方が携わる介護予防。今回取材しただけれども「高齢者の皆さんの笑顔が見たい」と情熱を持った方ばかりでした。「住み慣れたこのえびのでいつまでも自分らしく」。これは、介護予防に携わる方々の目標であり、みんなの願いでもあります。

なかなか相談できないという方もいるかもしれませんが、しかし、今回取材した介護予防に携わる方々は、ちよつとした悩みの相談でも待っています。皆さん、不安はありませんか。一人で悩んでいませんか。まずは相談してみてください。笑顔の素敵なスタッフたちが、皆さんと一緒に解決への糸口を見つけてくれるはずです。

特集◎いつまでもこのえびので (完)



一人暮らし高齢者宅を訪問する地域包括支援センターの上川さん。何度も訪問して会話を重ねることで、お互い心と心が通じ合います。

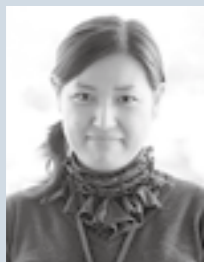
「これからの目標は何にしようか」  
「そっやねえ。何がいいかねえ」

Interview



◎社会福祉士  
えびの市地域包括支援センター  
竹中康代さん

地域包括支援センターの役目の一つに「総合的な相談窓口機能」があります。「こんなことを相談してもいいのかな」とためらわず、ご連絡ください。皆さんが安心できるように、関係機関と連携をとりながら解決に向けてお手伝いしますので、まずはご相談ください。



◎保健師  
えびの市地域包括支援センター  
池田久瑠美さん

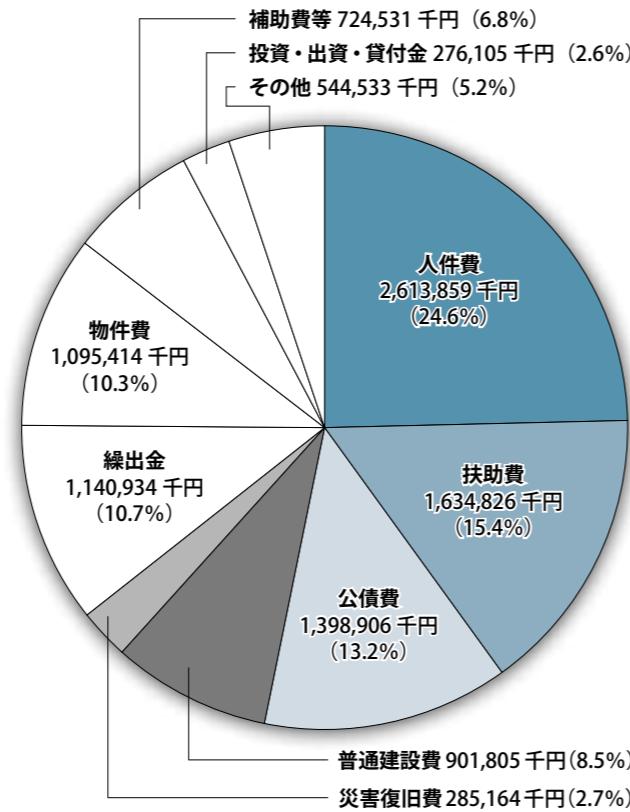
固いイメージをなくすために笑顔とえびの弁で話すことを心がけています。地域包括支援センターでは、介護予防教室などを実施していますので、それを多くの方に知ってもらい、高齢者の皆さんが笑顔でいきいきと生活できるよう手助けができればと思います。

平成 19 年度

# 決算

## 一般会計 歳出 総額

106 億 1,607 万 7 千円  
対前年度 2 億 6,508 万 9 千円増

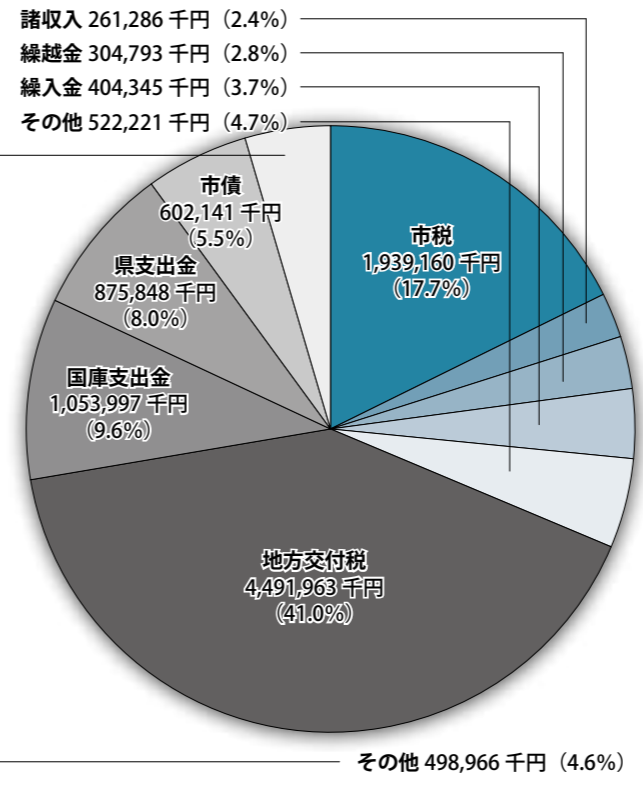


青：義務的経費 黒：投資的経費 白：その他の経費

# 報告

## 一般会計 歳入 総額

109 億 5,472 万円  
対前年度 2 億 9,893 万 9 千円増



青：自主財源 黒：依存財源

### 目的別の歳出の状況 ※( )は前年度比

- ◎**議会費**・・・1 億 5,138 万 3 千円 (6.9%減)  
議会の活動に要する経費です。
- ◎**総務費**・・・24 億 329 万 1 千円 (20.3%増)  
市有財産の維持管理、戸籍、統計、徴税、選挙、職員の人事などに要する経費です。
- ◎**民生費**・・・32 億 129 万 3 千円 (3.0%増)  
社会福祉 (身体障害者・高齢者・児童に関する福祉) や生活保護などに要する経費です。
- ◎**衛生費**・・・8 億 417 万 1 千円 (12.5%減)  
市民の方の衛生的な生活環境を保持するためや、ごみの処理などに要する経費です。
- ◎**労働費**・・・875 万 2 千円 (9.4%減)  
労働者のための施設の管理などに要する経費です。
- ◎**農林水産業費**・・・6 億 3,285 万 8 千円 (1.0%減)  
農業委員会や、農業・畜産・林業の振興などに要する経費です。
- ◎**商工費**・・・2 億 782 万 7 千円 (0.8%減)  
商工業の振興や、観光事業、企業誘致などに要する経費です。
- ◎**土木費**・・・4 億 9,752 万円 (3.5%増)  
道路の新設や維持管理、市営住宅の維持管理などに要する経費です。
- ◎**消防費**・・・3 億 6,436 万円 (7.7%増)  
消防や災害対策に要する経費です。
- ◎**教育費**・・・6 億 6,055 万 2 千円 (2.5%減)  
小・中学校、教育委員会、社会教育や、市内体育施設の維持管理などに要する経費です。
- ◎**災害復旧費**・・・2 億 8,516 万 4 千円 (27.1%減)  
災害によって生じた被害の復旧に要する経費です。
- ◎**公債費**・・・13 億 9,890 万 6 千円 (1.3%減)  
市の借金の返済に要する経費です。

### 用語の説明

- 【**地方交付税**】 地方税などの自主財源だけでは財源の足りない地方自治体に対して、国が交付するお金。
- 【**国庫支出金**】 国から地方自治体に支出される補助金や委託金。
- 【**市債**】 市がさまざまな事業を行う時、長期にわたって借りたお金。
- 【**自主財源**】 市が自ら徴収または収納できる財源。市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入など。
- 【**依存財源**】 国や県の意思により決定された額を、交付されたり、割り当てられたりする財源。地方交付税、国庫・県支出金、地方譲与税、市債など。
- 【**義務的経費**】 歳出のうち、その支出が義務付けられ、任意に削減することが困難な経費。人件費、扶助費、公債費。
- 【**投資的経費**】 歳出のうち、その支出が建物、学校、道路など、資産形成に向けられる経費。
- 【**人件費**】 市職員給与、市議会議員・各種委員報酬など。
- 【**扶助費**】 法令に基づき、被扶助者に支出される経費。児童手当、医療扶助、教育扶助など。

■**お問い合わせ先**  
市財政課経営分析係  
☎0984-351111  
(内線382)

歳出総額は、106億1,607万7千円で、18年度と比べ2億6,508万9千円の増となりました。歳出を性質別に大別すると、人件費、扶助費、公債費の義務的経費、普通建設事業費、災害復旧事業費の投資的経費、その他の経費に分けられます。義務的経費の総額は、56億4,759万1千円で、歳出全体の53.2% (前年度比1.5%減) です。投資的経費は、11億8,696万9千円で、歳出全体の11.2% (前年度比2.0%増) となりました。

【**歳入**】 歳入総額は、109億5,472万円で、18年度と比べ2億9,893万9千円の増となりました。これは、地方税、繰入金、県支出金などの増によるものです。自主財源は31.3% (前年度比4.6%増) となっています。この自主財源が多いほど行政活動の自主性と安定性が保たれます。一方、依存財源の総額は、75億2,291万5千円で、歳入全体の68.7% (前年度比4.6%減) となりました。

平成19年度の一般会計は、地方交付税等の減から、厳しい財政運営となりました。市では、経費の節減などを積極的に、効率的な予算執行に努めました。

【**歳入**】 自主財源は31.3% (前年度比4.6%増) となっています。歳入総額は、109億5,472万円で、18年度と比べ2億9,893万9千円の増となりました。これは、地方税、繰入金、県支出金などの増によるものです。

### 特別会計・企業会計決算

【単位:千円】

区分	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	3,724,013	3,471,619
老人保健特別会計	3,259,427	3,295,245
介護保険	2,549,851	2,518,537
特別会計	12,686	12,184
観光特別会計	34,349	33,936
水道事業会計	397,636	305,410
	183,095	376,150
病院事業会計	970,674	975,435
	35,685	59,660

国民健康保険のように、特定の人たちの相互扶助を目的とした事業は、原則として、利益を受ける人たちが負担するお金で運営します。そのため、一般会計とは別の「特別会計」となっています。

### 市民負担の状況

【単位:円】

区分	決算額	一人あたり	一世帯あたり
市民税 (個人)	545,171,149	23,516	53,727
固定資産税	955,322,870	41,208	94,148
軽自動車税	59,200,800	2,554	5,834
市たばこ税	126,672,369	5,464	12,484
入湯税	6,083,700	262	600
国民健康保険税	797,819,700	64,377	121,619

住民基本台帳人口 23,183 人、10,147 世帯で算出。国民健康保険被保険者は 12,393 人、6,560 世帯。(平成 20 年 3 月 31 日現在)  
※滞納繰越分を除きます。  
※各税目は、納める対象者が決まっており、各個人の負担額はそれぞれ異なりますが、ここでの一人・一世帯あたりの金額は、単純に決算額を人口・世帯数で割って算出しています。

### 財産の状況

◎**公有財産、物品**

区分	面積・数量等
土地	10,439,603.34 ㎡
建物	133,638.12 ㎡
物品	物品のうち公用車 134 台

◎**債権、基金** 【単位:円】

区分	18 年度末残高	19 年度末残高	増減
有価証券	16,644,200	16,644,200	0
出資による権利	184,403,613	169,928,613	-14,475,000
債権	489,692,780	482,471,061	-7,221,719
基金	5,088,926,551	5,138,950,322	50,023,771

### 市債の借入残高の状況

区分	平成 19 年度末残高
一般会計	90 億 4,840 万円
水道事業会計	9 億 8,575 万 4 千円
病院事業会計	8,286 万 7 千円
一時借入金	0

特別会計・企業会計決算、市民負担の状況、財産の状況は【平成 19 年度決算書】から。

01

## 第4回えびの市米・食味コンクールを開催 うまいえびの米がここに集結



米の外観や香り、味などが審査されました。

第4回えびの市米・食味コンクールが、11月15日、えびの市農業協同組合本店で行われました。これは、全国に負けない、安全・安心・信頼のおけるおいしい「えびの産ひのひかり」を目指そうと毎年行われているものです。コンクールには、115点の応募がありました。

コンクールでは、事前に食味計による予選審査で本選審査に出品する米5点を選出。本選審査では、生産者などの

農業関係者や消費者など、73人の審査員が、米の外観や香り、味などを審査しました。審査員は「どれもおいしくて甲乙つけ難い」と話し、審査は難航していました。

審査の結果、駿丸豊さん(出水区)が最優秀賞に選ばれました。駿丸さんは、「出水のきれいな水のおかげだと思えます。雨の日も風の日も、毎日欠かさず田に足を運び、水の管理に努めた結果だと思えます。これからもうまい米づくりにがんばります」と、喜びを語っていました。また、米の五つ星マイスターの藤木明審査員長は、「どれもおいしくて甲乙つけ難い審査でしたが、売る側としては、これだけ差がないと売りやすいです」と講評をしました。

宮崎市長は、「本選審査結果」(敬称略) ◎最優秀賞▽駿丸豊(出水区) ◎優秀賞▽瀬戸口修(加久藤麓区)、池田満次(下大河平区)、田口正英(上浦区)、鶴田幸一(今西区)

■お問い合わせ先  
市畜産農林課農産園芸係 (内線 223・226)

02

## 飯野小学校を市長が視察 一貫教育の推進状況は



飯野小の児童と一緒に給食。

平成20年度から小中高一貫教育がスタートした飯野小学校を、11月20日、宮崎市長が訪れました。

飯野小学校では、小中高一貫教育がスタートして、従来の教育内容に加えて、英会話科、えびの学、セレクト国語、セレクト算数が取り入れられました。英会話科では、3年生～6年生が年間35時間英会話を学びます。外国語指導助手の協力のもと、教科書だけでは学ぶことのできない本物の英会話、外国の文化を学んでいます。児童たちは当初、抵抗があったようですが、今では何の抵抗もなく、外国人と触れ合うことができるようになっていきました。また、6年生がスムーズに中学校に入れるように、中学校との交換学習も行っています。

えびの学では、郷土に誇りを持ち、郷土を愛する心を持った児童を育成するため、えびの市の歴史や自然、産業などを学んでいます。

宮崎市長は、英会話科などの授業風景視察の後、6年生と一緒に給食。宮崎市長は「皆さんが給食で食べているお米はどこで作られたお米か知っていますか。宮崎県で一番おいしいお米ですよ。毎日、給食を作るおじさん、おばさんが、みんなが勉強にがんばれるように料理してくださいました。残さずしっかりと食べて、勉強やスポーツにがんばってくださいね」と児童に話していました。

■お問い合わせ先  
市学校教育課教育係 (内線 411)

03

## 年末年始えびの市地域安全・交通安全運動 地域安全・交通安全に向けて



パレードで地域安全・交通安全を呼びかける園児たち。

年末年始えびの市地域安全・交通安全運動の発足式が、12月3日、市文化センターで行われました。これは、年末年始の犯罪や事故を未然に防ぎ、安心して生活できる環境を築いていこうと行われたもので、28団体約300人が参加しました。

えびの市交通対策協議会、えびの市防犯協会の会長を務める宮崎市長は、式で「市内でも振り込め詐欺の被害が出ました。皆さんも十分気を付けてください。」

年末年始の地域安全と交通安全を呼びかけました。また、年末年始を迎え、飲酒の機会が増えます。飲酒運転だけは絶対にしていただき、皆さんが安心して新年を迎えられることを心より願っています」とあいさつ。その後、えびの警察署の平川実生活安全係長が、今回発生した振り込め詐欺の手法や、架空請求、還付金詐欺、成りすまし詐欺の手法などを話し、注意を呼びかけました。

元気のいい太鼓演奏を披露した後、関係団体が市内を広報パレード。地域安全と交通安全を呼びかけました。飯野地区では、第二和光幼稚園の園児たちが、鼓笛隊パレードで年末年始の地域安全と交通安全を呼びかけました。

10月28日に、飲酒運転根絶えびの大会が行われていました。年末年始を迎え、飲酒の機会が増えると思いますが、家庭、職場、地域ぐるみで飲酒運転を根絶しましょう。

■お問い合わせ先  
市総務課防災交通係 (内線 313・316)

04

## メディアを読み解く力をつける講座 人権・男女共同参画を学ぶ



人権や男女共同参画について熱心に語る高崎先生。

11月13日に真幸小学校(6年生)で、12月5日に真幸中学校(2年生)で、「自分を好きになるためにメディアを読み解く力をつける講座」が行われました。これは、性別役割分担意識や性差別的な意識の解消のためには、学校での学習の役割が大きいとして実施されたものです。

講座は、講師にオフィスピュア・高崎恵さんを招いて行われました。講座は、メディアを読み解く力をつける取組

を通して、自分や他人について考えることや一人一人を尊重する「人権」の大切さを実感してもらうために、ワークショップという参加型の講座となりました。実際にテレビで流されているCMの視聴、そのCMの分析、グループでの話し合いという流れで進められました。

高崎さんは、「メディアによつては、性別によつて固定的な描き方をしているものが多々あります。メディアを

じめとして、社会のあらゆる場所で人権が大切にされていないと感じました。一人一人が人権についてもっと深く考え、行動する社会をつくっていくことが私たち若い世代の大切な役割だと思います」と話していました。

講座を受けた児童は、「人権や男女共同参画について深く考えることができました。今日教わったことは、大人になっても忘れません」と感想を話していました。

■お問い合わせ先  
市総務課人権啓発室 (内線 350)







熱心に新幹線の絵をかき時任さん。

# 時任健二さん

## 親しみを持てるような絵をかき続けていきたい

Kenji Tokitou  
ときとう・けんじ / 50歳 / 水川区 / えびの福祉作業所で他の通所生と作業や会話を楽しむ一方、電車や飛行機などの絵をかき続けている。

「絵を本格的にかき始めたのは、17〜18歳のころです。絵の展示会を見に行き、自分もかきたいと思ったのがきっかけです」と話すのは、時任健二さん（水川区）です。時任さんは、現在、えびの福祉作業所に通い、他の通所生の皆さんと一緒に作業に汗

を流しています。「みんなと一緒に作業をしたり話をしたりして楽しんでいきます」と時任さんは話します。時任さんのかく絵は水彩画で、そのほとんどが電車や車、飛行機などの乗り物。電車や汽車をはじめ、乗り物がとても大好きなんだそうです。エ

ンジや車輪など、細かい部分をかくのはとても難しいのですが、そこを覚えて絵にするのが楽しいのだそうです。時任さんのかいた絵を見た他の通所生からは「上手だね」、「すごいね」とほめられ、時任さんのことを画伯と呼ぶ方もいます。最近では、近所の

方などから「昔の蒸気機関車をかいてほしい」と頼まれることもあるそうです。そんな時任さんに「個展を開いてみたら」という話が持ち上がったといいます。「個展の話があった時はとても驚きました。ぜひ実現させて、多くの人に私の絵を見てもらいた

いですね」と時任さん。現在時任さんは、個展の開催に向けてひたすら絵をかき続けています。「これからも乗り物はもちろん、家などもかいていきたいですね」と話す時任さん。時任さんの個展が開催されることを待ち遠しく思っています。

## 家庭教育学級通信

### 楽しく和気あいあいとぎっくばらんに！

（真幸保育園家庭教育学級）



今年度の視察研修として宮崎県庁を訪れた学級生の皆さん。

皆さん、こんにちは。真幸保育園家庭教育学級「まさKID,S」です。真幸保育園では、仕事をされているお父さんやお母さんが多いので、活動の参加者を募ることが難しい場合があります。しかし、協力していただいた保護者の皆さんと、楽しく、和気あいあいと活動しています。

「家庭教育学級」＝「勉強」というイメージがありますが、皆さん、こんにちは。真幸保育園家庭教育学級「まさKID,S」です。真幸保育園では、仕事をされているお父さんやお母さんが多いので、活動の参加者を募ることが難しい場合があります。しかし、協力していただいた保護者の皆さんと、楽しく、和気あいあいと活動しています。

が、「勉強」だけではなく、子どもの食事やしつけの仕方などについて、ぎっくばらんに学級生同士で話し合う子育て座談会（井戸端会議）やレクリエーションなどを行っています。また、視察研修として、今年度は、宮崎県庁や重度心身障害児の支援を行っている総合発達支援センターにも行きました。このように、家庭のことを少しだけ離れた活動も積極的に実施しています。このような活動を、皆さんの保護者同士が触れ合う場にしていくことができれば、まだまだ楽しい活動になると思います。



真幸保育園家庭教育学級長 梯さゆりさん  
Sayuri Kakehashi

## みんなでつくろう！えびの市の「憲法」

前回に引き続き、「市民から見て行政のどこが問題か」というテーマについて、研究会の三つの班から出した意見を紹介します。今回は第3班から出た意見を紹介します。●職員のやる気のある人となない人の差が大きい●就業時間しか仕事をしていない●若い職員が元気がない●夢を持っていない（将来像がない）●協調性が乏しい●発想豊かな仕事をしていない●疑問に思ったことを聞いた時はっきり答えてほしい●物事に対して難しい言葉で理由付けをする●市民へ顔

を向けていない面が多い●窓口対応の仕方に丁寧さがない●各課ごとの仕事内容を公開してほしい●税金の課税方法がはっきりしない●課の統合など詳しく市報で説明すべき●各課の年間事業の情報を分かりやすく教えてほしい●情報の共有のシステムづくりが遅れている●景観保持条例を制定して選挙用立て看板の規制条例を設けるべき●マニュアル通りの無難な仕事をしている●法令順守を盾にとり、融通がきかない●意思決定の過程が見えない●早急な対応がない●災害復旧が遅れている●行政

への市民参画のシステムがない●市民の意見発想を常時取り込むシステムづくりが必要●窓口業務を一か所で済ませる仕組みづくりが必要●市民憲章の見直しが必要●予算に縛られて身動きできない面がある●コスト意識が低い●予算案ができた時市民への告知をしてほしい

次回は、各班からの発表により研究会がまとめた内容をお知らせします。

まちづくりの条例市民研究会  
えびの市内の各種団体45団体から成る「えびの市元なまちづくり市民会議」内に、昨年3月に設置され、老若男女19人で研究を続けている。

◎まちづくりの条例市民研究会レポート

# まちのわだい

08'12 Ebino City Topics



## 国際交流事業に貢献

特定非営利活動法人えびの市国際交流協会が、宮崎日日新聞賞国際交流賞を受賞しました。

この賞は、同新聞創刊25周年を記念して創設されたもので、各部門で優れた功績があり、地域社会に寄与した個人または団体に贈られるものです。同会は、語学講座や留学生支援など、20年間にわたって「国際交流のまちえびの」の発展に大きく貢献したとして表彰されたものです。

田内四朗会長は、「ちょうど20年という節目の時にこのような賞をいただくことができていることにうれしいです」と話していました。



受賞の報告に市長を訪れた国際交流協会の皆さん。

## 夫婦60組がめでたく金婚

金婚者祝賀会が、11月6日、市文化センターで行われました。今年、めでたく金婚式を迎えたのは60組の夫婦。祝賀会では、市長や来賓がお祝いの言葉を述べた後、記念品として、福祉作業所の皆さんが作製した一輪さしと、竹工会の皆さんが作製した写真額が贈られました。また、園児たちによる踊りの披露や歌謡曲の披露なども行われました。

60組の夫婦を代表して、繪柳益夫さん・しみさん夫婦（栗下区）が、「これからも、夫婦手を取り合って精一杯生きていきたいと思っています」と謝辞を述べました。



「本日はありがとうございます。感謝、感激です」と繪柳さん。

## ふるさとへの恵みに感謝

えびの市の秋の風物詩「田の神さあの里産業文化祭」が、11月15日、16日の2日間、えびの市文化の杜周辺で行われました。

産業の部では、市内で生産された農畜産物や農機具などの販売、畜産まつりなどが行われました。訪れた人たちは、面白い物を楽しんだり、メインステージでの催しを楽しんだりしていました。

文化の部では、作品展示や健康づくり展などが行われました。文化センターには、絵画や木工、手芸など、園児から高齢者までの力作がずらり。見物客はそのできばえに見入っていました。



畜産まつりで牛の絵を描く子どもたち。

## 秋を満喫した白鳥観光祭

えびの白鳥観光祭が、11月9日、白鳥温泉下湯と白鳥神社で行われました。これは、歴史ある白鳥神社、自然豊かな白鳥森林公園など、白鳥地区の観光促進につなげ、えびのの秋を満喫してもらおうと行われたもので、市内外から約1,200人が参加しました。

観光祭では、お茶会やカボチャコンテスト、紅葉ウォークラリーや抽選会など、多数の催しが行われました。白鳥温泉下湯で行われたマスのつかみ取りでは、子どもも大人も大はしゃぎで、放された200尾のマスを必死に追っかけていました。



紅葉ウォークラリーを楽しむ参加者。

## 豊作祝い田の神さあ踊り

田の神さあ踊り大会が、11月15日、市文化センターで行われました。これは豊作を祝って毎年行われているもので、今年で21回目。大会には、園児から高齢者まで、10チーム232人が出場しました。田の神さあ音頭とえびの音頭の曲に合わせて、各チーム、ハッピー姿や田の神さあに扮した格好など、独自の衣装や振り付けで楽しそうに踊っていました。

踊り終えた参加者は、「一曲ずつしか踊れなかったのですが、もう少し踊りたい気もしますが、他のチームの踊りも見れて良かったです」と話していました。



独自の衣装と振り付けで楽しく踊る参加者。

## 農林水産大臣から感謝状

永吉哲さん（高野区）に、農林水産大臣から感謝状が贈られました。これは、長年にわたり、「農業経営統計調査」、「林業経営統計調査」、「漁業経営調査」に協力をいただいた記帳農林漁家に贈られるものです。統計調査結果は、農林水産業各種施策の基礎資料として活用されます。

永吉さんは、10年以上、農業経営統計調査の記帳農家として協力してきました。永吉さんは、「少しでも役に立つのであればうれしいですね。協力できることはこれからも協力していきたいと思えます」と話していました。

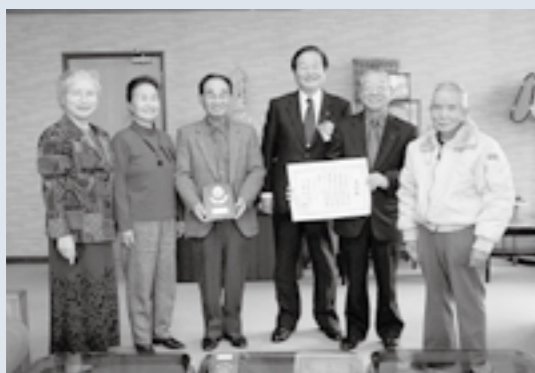


感謝状を手にする永吉さん。

## 日々の活動に高評価

えびの市高齢者クラブ連合会が、財団法人全国老人クラブ連合会から表彰されました。これは、同会の行う環境美化活動などが高く評価され表彰されたものです。同会では、夏にソーメン、冬にはチャンポンを販売して、積極的に活動資金づくりを行っています。このことも高く評価されました。

受賞の報告に市長を訪れた同会の押領司勲会長は、「高齢者は増えるものの、クラブに入らない人がとても多いです。クラブに入っただけで活動し、一緒に笑うことができることが高齢者クラブの最大の利益です」と話していました。



受賞の報告に市長を訪れた高齢者クラブの皆さん。

information

# お知らせ コーナー

## ・お知らせ・

### 落とし物や忘れ物の 情報を検索できます

#### 遺失物法の改正

落とし物や忘れ物の取扱方法を定めた遺失物法が改正され、落とし物や忘れ物の情報がインターネットで公表され、探しやすくなりました。

宮崎県警察本部のホームページに、宮崎県内で取り扱われた落とし物に関する情報が公表され、検索することができます。また、宮崎県外で取り扱われた落とし物に関する情報は、各都道府県の警察本部のホームページでご覧になれます。

【宮崎県警察本部ホームページアドレス】<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/police/>

■お問い合わせ先  
えびの警察署会計係  
☎ 0984 - 33 - 0110

### 南九州駅伝競走大会 にご理解とご協力を

#### 第 63 回南九州駅伝競走大会の開催

平成 21 年 2 月 1 日（日）に、第 63 回南九州駅伝競走大会が開催されます。安全で円滑な運営を行うため、選手の通過予定時刻前後は交通規制が行われますので、交通渋滞が予想されます。お出かけの際は、早めに家を出られるか、う回路をご利用ください。

また、選手へのご声援もよろしくお願いたします。

【選手通過予定時刻】

◎午前 10 時スタート：真幸地区体育館前 ◎午前 10 時 35 分：オカ薬局本店前 ◎午前 10 時 53 分：小林市河島木材工業（株）前 ◎午前 11 時 14 分：小林市靴の小笠原前 ◎午前 11 時 37 分：高原町フリーウェイ工業団地南口前 ◎午後 0 時 4 分：ローソン高崎大牟田店前 ◎午後 0 時 34 分：都城市立志和池小学校前 ◎午後 1 時 6 分：都城市役所玄関前

■お問い合わせ先  
第 63 回南九州駅伝競走大会事務局（都城市スポーツ振興課内）  
☎ 0986 - 23 - 9546

### 「国の教育ローン」は 公的な融資制度です

#### 国の教育ローンの案内

国の教育ローンは、大学、短大、専修学校・各種学校や外国の学校等に入学・在学するお子さんをお持ちの家庭を対象とした公的な融資制度です。

【融資額】学生・生徒一人につき 200 万円以内

【利率】年 2.65%

■お問い合わせ先  
日本政策金融公庫宮崎支店国民生活事業

☎ 0985 - 23 - 3274

教育ローンコールセンター

☎ 0570 - 008656

## ・募 集・

### 英語暗唱に挑戦 してみませんか

#### 英語暗唱大会出場者募集

市国際交流センターでは、市内の中学生を対象に英語暗唱大会を開催します。

【開催日時】平成 21 年 2 月 14 日（土）午前 10 時～

【会場】市国際交流センター研修室

【応募資格】市内の中学校に在籍する生徒

【暗唱内容】テーマは自由。ただし、制限時間 5 分以内であること。教科書の引用、またはオリジナルの内容でも可。

【応募締切】平成 21 年 1 月 19 日（月）

【原稿締切】平成 21 年 1 月 29 日（木）※申込書提出後、英文タイプで作成した原稿（word 形式で半角文字）の 3.5 インチフロッピーディスクまたは CD-ROM を提出してください。

※詳しいことは、市国際交流センターにお問い合わせください。

■お問い合わせ先  
市国際交流センター

☎ 0984 - 35 - 3211

### 環境に負担の少ない生活ス タイルの取組を募集します

#### エコライフ・コンテスト参加者募集

環境みやざき推進協議会では、「環境に負担の少ない生活スタイル」の取組を募集します。

【応募対象】環境みやざき推進協議会会員であればどなたでも参加できます。個人、団体は問いません。また、会員以外の方でも、協議会入会とコンテスト参加を同時に受け付けています。

【応募部門】①家庭部門（個人でも可）②地域部門（学校、企業、地域等のグループや団体）③エコ幼稚園・保育所部門

【募集期間】平成 21 年 1 月 5 日（月）～ 2 月 6 日（金）

【応募内容】「環境に負担の少ない生活スタイル」の取組です。年間を通じた取組でも、時期的な取組でも結構です。例えば、エコクッキングでごみ減量、職場での省エネ・省資源活動など。

【表彰】部門ごとに最優秀賞、優秀賞、優良賞を表彰します。

【応募方法】申込用紙に必要事項を記入の上、郵送、FAX または電子メールで応募してください。申込用紙は、環境み

やざき推進協議会のホームページ（アドレス：<http://www.miyazaki-kankyo.or.jp/suisin/index.php>）からダウンロードできるほか、環境みやざき推進協議会事務局、宮崎県環境情報センター（宮崎県立図書館 1 階）でも配布します。

■申込み・お問い合わせ先  
〒 880 - 0911 宮崎市大字田吉 6250 - 20 環境みやざき推進協議会事務局エコライフ・コンテスト係 ☎ 0985 - 51 - 2077  
FAX 0985 - 51 - 2085

電子メール：[koueki@miyazaki-kankyo.or.jp](mailto:koueki@miyazaki-kankyo.or.jp)

### 事業所で働きながら 学ぶことができます

#### 小林高等職業訓練校の訓練生募集

小林高等職業訓練校では、訓練生を募集しています。これは、個人の技能の向上および訓練生と講師との交流を深めることにより、将来的に仕事の向上に生かすことを目的としています。

訓練生は働きながら訓練指導員の下で学ぶことができます。

【訓練科名】木造建築科・左官  
タイル施工科

【訓練期間】3 年間（月 3 回、午前 8 時 30 分～午後 5 時）

※詳しいことは下記にお問い合わせください。

■お問い合わせ先  
小林高等職業訓練校

☎ 0984 - 23 - 6800

## ・イベント・

### 人権についてみんな で考えてみませんか

#### 第 18 回人権を考える市民のつどい

市では、下記のとおり「第 18 回人権を考える市民のつどい」を開催します。今回は、映画「新・あつい壁」を上映します。この映画は、ハンセン病患者であることを理由に、法の前の平等を踏みにじられた事件を通じて、それを許した当時の社会の意識が今日どのように変わったのか、そして何が変わらないのかを描いています。

【開催日時】平成 21 年 1 月 25 日（日）開場：午後 1 時 開演：

午後 1 時 30 分

【入場料】無料 ※ただし、入場整理券が必要です。入場整理券は、市総務課人権啓発室、市文化センター、両出張所に準備してあります。

【託児】希望される方は、1 月 23 日（金）までに市総務課人権啓発室に申し込みください。

■お問い合わせ先  
市総務課人権啓発室  
（内線 350）

### 毎年恒例の一斉放水に県 防災ヘリもおそろも参加

#### 平成 21 年えびの市消防出初式

平成 21 年 1 月 11 日（日）、湯田橋下流河川敷で、えびの市消防出初式が行われます。式では、団員による一斉放水では、宮崎県の防災ヘリ「おおぞら」も駆けつけ、上空からの放水と救出救助訓練を実施します。

【一斉放水開始時間】午前 10 時 30 分ごろ

■お問い合わせ先  
市総務課防災交通係  
（内線 313・316）

## 119 だより

### インフルエンザに注意！

毎年、12 月下旬から 3 月上旬にかけて、多くの方がインフルエンザにかかっています。早めに予防接種を受けて、うがい、手洗い、十分な栄養を取って、予防を徹底しましょう。

インフルエンザと風邪の違いは、原因となるウイルスの種類が異なり、通常風邪はのどや鼻に症状が現れるのに対し、インフルエンザは、急に 38～40 度の高熱が出るのが特徴です。さらに、倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状も強く、これらの激しい症状は 5 日間ほど続きます。また、気管支炎や肺炎を併発しやすく、重症化すると脳炎や心不全を起こすこともあり、命にかかわることもあります。

11 月の活動状況	火災	0 件	年計	16 件
〔えびの消防署管内〕	救急	69 件	年計	629 件

■えびの消防署 ☎ 0984 - 33 - 6119

## 110 だより

### 飲酒運転を根絶させましょう！

年末・年始は、忘年会や新年会のシーズンとなり、飲酒の機会が増えます。飲酒運転は絶対しないようにしましょう。

法律が改正され、飲酒運転に対する罰則がさらに厳しくなりました。また、飲酒運転をする人に車を貸したり、運転する人に酒を勧めたり、飲酒していることを知っていたら車で送ってもらったりしたら、自分が飲酒運転をしていなくても処罰の対象になります。

悲惨な交通事故を引き起こす飲酒運転は、絶対に根絶させましょう。

11 月の交通事故	人身	7 件	年計	73 件
発生状況	物件	41 件	年計	291 件

■えびの警察署 ☎ 0984 - 33 - 0110

ありますか、好きだと言える一冊が。

## おすすめの 一冊



### 『猫は魔術師』

『ねこ新聞』／監修  
（竹書房）

猫は、きまぐれでマイペース。でも、そこに来てくれるだけで幸せな気持ちになれます。この本は、そんな愛猫へのあふれる想いを、40人の各界著名人が書きつづったエッセイ集となっています。猫好きの人もそうでない人も、読んだらきっと心が温かくなる、おすすめの一冊です。

BOOK CORNER

■推薦：市民図書館

## 心の一首一句

つるし柿が良くできて配りたくなる。勢い縁家関係を挙げてみる。自家用を少しにしても、「あと四五さげ足りぬ」という具合で、悔しい。今年も笑顔は見そこないか！  
（自註）

俳句 配るには四五さげ足りぬ柿

水川区 三輪景晴

ゆく秋の中で草や木は地に選つて行く。その中で赤い南天の実が華やかな彩りを放つ。南天（難転）は難を逃れるといわれ、お祝の赤飯に南天の葉を添えるのはその諺からきているといわれている。十二月は春待月といわれ、自然界も作者も、物すべてが優しい春が来るのを信じたい。深い歌である。  
（評）竹下妙子

短歌

未枯れゆく庭隅飾る南天の

赤き実あまた春を待ちいる

栗下区 細山田小夜子

詩

流れのまゝに

京町区 藤井れい子

透き通る川底には 小魚達が舞い遊び  
ゆるやかな流れは 水鳥達が育む  
釣り人は あきることもなく  
日がな一日 釣糸をたらし  
小春日和の川面を見つめ何をか思う  
陽は昇り 又 陽は沈む  
自然の中に 身をゆだねれば  
固くなった心も いつの間にか癒され  
明日も流れのまゝに  
生きていけばいいんだと思えてくる  
親愛なる故里の川は 人の心までも育む  
朝な夕なに 移りゆく季節の中で  
さざ波のきらめく川辺に 今日も佇ずむ

### あなたもつくってみませんか。

（短歌）竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056

（俳句）阿野文雄さん ☎ 0984 - 37 - 1653

（詩）ボエム同好会（市田寛幸さん） ☎ 0984 - 37 - 2528 まで。



## いきて健康

Let's Lead A Healthy Life!

### 新型インフルエンザとは

■鞍津輪保健師（健康保険課）

最近よく聞く「新型インフルエンザ」とはどのようなものでしょうか。

人のインフルエンザウイルスは、大きく分けてA型、B型、C型の3種類ありますが、もとは鳥インフルエンザウイルスです。その中で、A型は絶えず変化しており、これに感染した新型インフルエンザが数十年に一度、大流行するといわれています。過去に、1918年のスペインかぜ、1957年のアジアかぜ、1968年の香港かぜが大流行し、多くの死者も出ました。

鳥インフルエンザウイルスは、通常、人への感染力は弱いのですが、H5N1型ウイルスだけは毒性が強く、人にも感染することが知られています。このH5N1型による鳥から人への感染が、1997年に香港で確認されて以降、世界各地で感染者が増えています。

近い将来、このウイルスがさらに変化し、人から人へ感染することが心配されています。これが今われている新型インフルエンザです。

では、なぜ新型インフルエンザが大流行するのでしょうか。それは、だれも免疫を持っていないから

です。特に人の移動が世界中広範囲に広がっている今日では、いったんどこかで発生すると、またたく間に世界中に広がり、宮崎県でも8週間で4人に1人がかかるといわれています。

毒性の強いH5N1型鳥インフルエンザの特徴は、10代～20代の致死率が、乳幼児や高齢者よりも高いということです。これは、免疫機能が余計に反応した結果、自分自身の身体まで傷つけてしまうという現象が、免疫機能がよく働く若い年代に起こりやすいためといわれています。鳥から人へ感染した海外の症例では、3日ほどの潜伏期間の後、38度以上の発熱、のどの痛み、せき、おう吐、下痢などの症状が出て、重症化すると死に至ることもあります。

### インフルエンザを予防するために 日ごろからの手洗い、うがいと予防接種を！

新型インフルエンザが流行したら、とにかく外出しないことが一番の予防です。日ごろから、手洗い、うがいを心がけ、今流行しているインフルエンザに感染しないように、予防接種を受けましょう。

## 男女共同参画だより

### 『私と男女共同参画』

私は、現在飯野小学校のPTA会長を務めさせていただいています。今年度は、保護者の皆様のご協力のもと、「子どもたちのため、学校のため、地域のために、ひとり役」を言葉に活動を行っています。そのため、以前よりもスムーズな運営ができています。



文／飯野謙一郎さん  
（飯野龍区）

昔は、子育てや学校関係の活動は、すべて母親任せであったような気がします。しかし、現在では共働き家庭も増え、家事・育児などにも父親の協力や参加も増えてきています。飯野小学校PTA活動についても、父親の姿が多く見られ、男性の活動も盛んに行われています。

先月の広報えびので紹介された「やまびこ会」は、奉仕活動を中心に2か月に1度、学校内の環境整備を行っています。また、母親の活動もこれまで以上に盛んになってきており、「ひとり役」を合言葉に、お互いの立場を尊重し、励まし合いながらより良い活動が行われています。

男女共同参画の標語「わかちあう 仕事も家庭も喜びも」。これこそが、私たちPTA活動の基本です。親が男女関係なく、だれもが進んで参加し、さまざまな活動ができる喜びをみんなで分かち合いましょう。私たちのがんばる姿を見て、子どもたちが何かを感じ取り、思いが伝われば、これこそ素晴らしい子育てになると思います。子育てを通して、男女がその個性と能力を十分に発揮できる住みよい社会を目指したいと思います。

### 今月の納税

固定資産税 第3期  
国民健康保険税 第6期  
12月25日までに納めましょう。

# ふるさと散歩

Furusato-sanpo

122

しゅこうしんとう  
守庚申塔



中上江地区にある守庚申塔。

えびの市史（石塔編）で、庚申石塔が四十三か所（年代不明も含む）紹介されています。

庚申塔は、集落の入口や橋のたもと、三叉路に立てられており、外部から入ってくる疫病や悪霊を防ぐ民間信仰の一つであったといわれています。

庚申信仰は、十干十二支の暦の組み合わせによる六十日ごとに、一巡する庚申の日に行われる信仰行事。これを庚申待ちといえます。

庚申の夜は、徹夜です。徹夜するのは、この夜、三戸の虫が、睡眠中の人体から抜け出て天に昇り、天帝にその人の罪過を告げて生命を奪うからだといえます。「長

生きを願うなら眠らずに起きていよ」。これは中国の道教に基づくものです。こうして徹夜で行う行事を守庚申といえます。

市内には、前田地区（享保十五年）、中上江地区（享保十六年）、大明司地区（享保十六年）の三か所に、守庚申の文字が刻まれた碑があります。当時、これらの付近一帯で、守庚申が盛んに行われていたのではないかと思われます。

市内で最古の庚申塔は、慶長十六年二月に建てられた西郷地区の石塔です。自然石に阿弥陀如来の仏像が美しく刻まれています。

市内には、江戸中期に作られたものが最も多く、庚申信仰を指導

し、流行させた人は、宗教僧と山伏、禅僧ではなかったかといわれています。また、庚申塔についてはなぜでしょうか。五穀豊穡と無病息災を祈る呪術信仰であったのでしょうか。農作物の神、治病の神、福の神として祀られている田の神としての役目も果たしている田代の庚申塔は、幼児の百日咳の神として集落の信仰を集めていたといわれています。

長い年月の風雨に耐え、先人たちが信仰を通して集落の安全、無病息災に庚申塔を大切に保存してあったことを言い伝えて大切に保存していきたいものです。

（文）歴史民俗資料館・麦田勝